

43	カバ	カバ/カバ/カワカワ/シヤカボ	全草		<i>Piper methysticum</i> Forst.	Piperaceae コショウ科	カバ	X Com E	ビペルジン/アルカロイド (pipermethystine)	kavalactones (desmethoxyangonin, yanguin, dihydrokawain, kawain, dihydromethysticin, methysticin)	Class 2b; 2c; 2d	A	向精神作用を持つkavalactonesを含む。
44	カラバル豆		豆		<i>Physostigma venenosum</i> Balf.	Leguminosae マメ科	フィオスチグマ・ベネノスム	O	アルカロイド率0.5% を含むフィオスチグマ ミン(エゼリン)を主 成分とする。		Physostigmine LD50: 7.1 µg/kg - 20 mg/kg	A	毒性の強いphysostigmineを含む。
45	カロコン	オオカラスクリ/キカラスクリ/シナカラスクリ	根	果実・種子は「非医」	<i>Trichosanthes baccata</i> Voigt (オオカラスクリ), <i>T. kirilowii</i> Maxim. var. <i>japonicum</i> Kitamura (キカラスクリ), <i>T. kirilowii</i> Maxim. (シナカラスクリ)	Cucurbitaceae ウリ科	キカラスクリ	同方	Trichosanthin		Trichosanthin: LD50 = 5.9 mg/kg (mouse, subcutaneous)	A	毒性タンパク質であるtrichosanthinを含む。
46	カロライナジャスミン	Yellow Jessamine	全株		<i>Gelsemium sempervirens</i> (L.) J. St.-Hil.	Loganiaceae マチン科		Com E: because of the narrow therapeutic range, numerous intoxications have occurred, some with fatal consequences.	ゲゼルミン等 Gelsemine/Gelsemine/Sempervirene/Indole alkaloid		oral child LDLo 7.4 mg/kg; G. elegans: 25mg/kg i.p. mouse	A	有毒アルカロイド (Gelsemine/Gelsemine/Sempervirene/Indole alkaloid) を含む、子供への経口無作用量が (LDLo) 7.4 mg/kg
47	カララケ	雲芝(うんし)	菌糸体	子実体は「食」	<i>Coriolus versicolor</i> (L. ex Fr.) Quet.	Polyporaceae カワラタケ科		Com E: クレスチンを産生する	Coriolan-33 (Antibiotic compounds) を産生する		LD50=2g/kg (oral, mouse)	B	免疫賦活剤クレスチンの産生菌糸体である。
48	カンショウコウ<甘松香>	英名 spikenard	根		<i>Nardostachys jatamansi</i> (D. Don) DC.	Valerianaceae オミナエシ科	<甘松香> Indian herb	X			essential oil i.p. LD50 900mg/kg, mouse, i.v. dog. LD50: 93mg/kg (劇薬相当); extract i.p. rat LD50: 353mg/kg	A	精油の毒性 (i.v. dog, LD50=93 mg/kg) が劇薬相当。
49	カンノウカ<軟冬花>	フキタンボク	花蕾	葉・幼若花蕾は「食」	<i>Tussilago farfara</i> L.	Compositae キク科	Coltsfoot leaf (Com E)	Com E	Senkirkine/Jussilage (Pyrrolizidine alkaloid) nicotine (pyrrolizidine alkaloid) tumorigenic data intraperitoneal rat, TDLo 300mg/kg		oral, rat TDLo 4800g/kg (Japanese J. of cancer Res.)	A	腫瘍形成作用をもつ有毒アルカロイド (Senkirkine, Pyrrolizidine alkaloid: tumorigenic data, intraperitoneal rat, TDLo 300mg/kg) を含む。Com E及びFBSHでの記載に禁忌がある
50	カンボウ<漢防己>	漢防己、粉防己	茎・根茎		<i>Stephania tetrandra</i> S. Moore	Menispermaceae アジサイ科	シマハスノハカン	以前同II	tetrandrin		LD 50 41.3 mg/kg i.p. mouse, dimethyltetrandrine	A	解毒tetrandrin (LD 50=41.3 mg/kg i.p. mouse) を含むこと及び aristolochic acid を含むオオツツラフジとの区別が難しいこと。
51	カンラン<漢連>	漢連	果実		<i>Canarium album</i> (Lour.) Raeusch.	Cantharaceae カンラン科	white Chinese olive	X			Bengalense: i.p. mouse 1g/kg以上	E	二、果実とも食の薬性があること同属植物のLD50値 (Canarium manit, C. bengalense: i.p. mouse 1g/kg以上)

68	ゲンバンショウコ<現之証薬>	ミコシロガサ、チマダクサ、ホツケソウ、イシヤゴロシ、ネゴダ	地上部		<i>Geranium thunbergii</i> (Sieb. et Zucc.) Kudo <i>Cyperus rotundus</i> L.	Geraniaceae アワロン科 Cyperaceae カヤツリグサ科	ゲンバンショウコ ハマダク	局方		extract : oral LD50 10 g/kg以上, mouse, rat extract : i.p. LD50 30 mg/kg, rat	B A	アルカロイド等の成分は含有されていないが、局方に収載されており、日本において医薬品としての使用実態があるため専ら医薬品と考えられる。 エキスのLD50はi.p. 50 mg/kg, ratであり、制薬相当であることから安全性に充分な配慮が必要であり、専ら医薬品と考えられる。
69	コウブシ<香附子>	香附子、ソウノ、ハマダク、nut grass	根茎		<i>Cyperus rotundus</i> L.	Cyperaceae カヤツリグサ科	ハマダク	局方		extract : i.p. LD50 30 mg/kg, rat	A	エキスのLD50はi.p. 50 mg/kg, ratであり、制薬相当であることから安全性に充分な配慮が必要であり、専ら医薬品と考えられる。
70	コウフン<鈎吻>	コマントク、コマンキョウ、駒物、治葛、胡漢藤、胡漢強	全草(生薬として根及び根皮)	根にアルカロイドを含有する。有毒	<i>Gelsemium elegans</i> Benth.	Loganiaceae マチン科	コマントク	○		extract : i.p. LD50 25 mg/kg, mouse	A	エキスのLD50はi.p. 25 mg/kg, mouseであり、制薬相当であることから安全性に充分な配慮が必要であり、専ら医薬品と考えられる。
71	コウボク<厚朴>	ホウノキ、ホオガシワ、ホオガシワノキ、ウミノペロ	樹皮		<i>Magnolia obovata</i> Thunb.	Magnoliaceae モクレン科	ホウノキ	局方		coryuberine : i. p. LD50 19.6 mg/kg, mouse	A	含有されるcoryuberineのLD50はi.p. 19.6 mg/kg, mouseであり、制薬相当であることから安全性に充分な配慮が必要であり、専ら医薬品と考えられる。
72	コウホン<藎本>	①カラコウホン ②川ホン ③コウホン(遠藤本) ④コウホン ⑤ワコウホン	根・根茎	ワコウホンとしてヤブニンジンOsmorhiza aristata (Thunb.) Makino et Yabeがあるが、現在ではほとんど生薬されていない。Makino et Yabe	①Ligusticum sinense Oliv.②Ligusticum japonicum (Nakai et Kitag.)③Molochosiphon japonicum Miq.④Osmorhiza aristata (Thunb.) Makino et Yabe	Umbelliferae セリ科	①リグステイク ②ムレイセンキョウ ③カサモチ ④ヤブニンジン	①②③④局外生規	OC class 1, ②③④は記載無し		B	アルカロイド等の成分は含有されていないが、国外生規に収載され、漢方処方にも配合されていることから専ら医薬品と考えられる。
73	コウレン<胡木蓮>	胡木蓮	茎・根茎		<i>Picrohiza kurrooa</i> Royle ex Benth.	Scrophulariaceae ゴマノハダ科		○		extract : oral LD50 1288 mg/kg, mouse	E	日本において医薬品としての使用実態はなく、エキスのLD50が1288 mg/kg (oral, mouse)であることから食薬区分の見直し対象となり得ると考えられる。
74	ゴールデンシール	ヒトラスチス、カナダヒトラスチス	根茎		<i>Hydrastis canadensis</i> L.	Ranunculaceae キンポウゲ科	ヒトラスチス	○		hydrastinine : i. p. LD50 100 mg/kg, rat	A	hydrastinineのLD50はi.p. 100 mg/kg, mouseであり、制薬相当であることから安全性に充分な配慮が必要であり、専ら医薬品と考えられる。
75	コケモモヨウ	コケモモ	葉	果実は「食」	<i>Vaccinium vitis-idaea</i> L.	Eriaceae ツツジ科	コケモモ	不詳			D	安全性に関するデータが認められないため、現在のところ判断データがないと考えられる。

評価基準

- A: 安全性に十分な配慮が必要であり、専ら医薬品と考えられる。
 B: 国内外を含め医薬品としての使用実態があり、専ら医薬品と考えられる。
 C: さらに調査を続ける必要がある。
 D: 現在のところ判断データがない。
 E: 医薬品としての使用実態が乏しく、含有成分等からも食薬区分の見直し対象となり得ると考えられる。